

2022年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB・OG会総会

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1 開会のことば | 副会長 川辺 和夫 |
| 2 会長挨拶 | 会長 田口 哲雄 |
| 3 議長選任 | |
| 4 議事 | |
| (1) 活動報告(2019年度後半～2022年度中間) | 会長 田口 哲雄 |
| (2) 会計報告(2021年度～2022年度中間) | 会計 飯島 五郎 |
| (3) 「じんじろげ小屋の未来を考える会」中間報告 | 森 秀雄／飯島 五郎 |
| (4) 役員改定、新役員選出 | 会長 田口 哲雄 |
| (5) 今後の活動方針 | 新会長 |
| (6) 現役からの活動報告 | 現役部長 東山 大希 |
| 5 議長解任 | |
| 6 閉会 | 新副会長 |

活動報告

【2019年度後半】

○2019年度WV部OB・OG会総会 2019年12月14日 OB参加者27名

10月12日の台風19号により東京都市大学浸水被害により延期していた総会を東京都市大学校友会館において行いOB・OG会活動報告や新役員の改選が行われた。

・新役員 下線は新メンバー

会 長:田口 哲雄(1969)

副会長:藤本 直也(1982)、川辺 和夫(1973)(山小屋担当)

総 務:笠倉 和昌(1975)、高柳 悟(1992)、松岡 拓志(2017)

会 計:飯島 五郎(1989)

会計監査:上野 潔(1963)、城所 孝司(1970)

相談員:川辺 和夫(1973)、平野 大輝(2015)

・各代の連絡員への連絡体制

期	卒業年	OB No	総数	連絡可	連絡役員	備考
I	1960~1964	001~066	66	44	上野 潔	武蔵工業大学
II	1965~1968	067~126	60	50	城所 孝司	
III	1969~1975	127~177	51	38	川辺 和夫	
IV	1976~1983	178~226	49	37	藤本 直也	
V	1984~1995	227~284	58	49	飯島 五郎	
VI	1996~2012	285~338	54	44	高柳 悟	
VII	2013~2019	339~394	56	56	松岡 拓志	東京都市大学
計			394	318		

【2020年度】

2020年度のOB・OG会活動は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により役員会は全てオンラインで行った。また山小屋関係では地元関係機関への挨拶や山小屋偵察が実施出来なかったが、大学の方針により現役のクラブ活動が禁止されたためOB・OGだけによる山小屋ワークを実施した。

○第1回役員会をオンラインで開催 2020年4月

○2020年度年間活動計画等を決定 2020年5月 第2回役員会

- ・山小屋の維持管理が1年以上行われなかったためOB・OGだけによる山小屋ワークを計画した。
- ・新たに、OB・OG会や山小屋の在り方などを話し合う検討会の設置を立ち上げることにした。

○会員向け資料の発信 2020年7月 第3回役員会

○OB・OGによる山小屋ワークの実施の是非について検討 2020年8月 第4回役員会

○山小屋ワーク:OB,家族14名 2020年9月19日・20日

- ・山小屋ワークを主目的とし懇親会は自粛した。
- ・薪割り、除草、粗大ごみ片付けやトイレの汲み取り作業、水源の清掃を行い破損した水道管の修繕をした。

○(仮称)山小屋検討委員会の設置 2020年11月 第5回役員会

○「山小屋の利用促進を考える会」の設置要綱 2021年2月 第6回役員会

- ・本委員会の設置要綱の作成に当たり設置目的や山小屋が抱える現状や課題を整理した。

○卒部会をオンラインで開催 2021年3月

・OB・OG会を代表して会長より卒部生へ祝辞を述べるとともに、OB・OG会則を配布し会の目的などを説明してOB・OG会活動への理解と協力を求めた。

【2021年度】

○2021年度活動計画及び予算計画について(4月、6月、7月 各役員会)

- ・活動計画・・・山小屋ワークの実施時期や実施方法、「山小屋の利用促進を考える会」のメンバー募集の案内文作成や発足時期等
- ・予算計画・・・山小屋の土地借地費や障害保険、修繕費、消耗品費など山小屋維持に関わる経費及び将来必要となる大規模修繕費(積立金)等
- ・会員向け資料の整理と発信(メール主体、一部郵送)

○山小屋ワーク実施に向けた検討(8月 役員会)

- ・参加者の範囲や感染対策について検討した

○山小屋ワーク(9月19日・20日)・参加者:OB13名、他1名

- ・感染対策・・・参加者をワクチン接種済みのOB・OGに限定し新型コロナの一般的な感染対策の他、分散宿泊(山小屋、テント)、食事時のソーシャルディスタンスの確保など
- ・ワーク・・・山小屋清掃、備品類の整理整頓、薪割りや小屋周辺の整備及び水道の改善(炊事場の水道の水の出が悪いため水道管内を清掃)
- ・水源地調査・・・取水箇所を従来の沢の流水部から降雨や季節による影響が比較的少ないと思われる湧水部に変更することを検討

○水道水取水箇所の改良工事について(10月 役員会)

- ・ワーク時に検討した水道の取水箇所の改良工事案を決定し令和4年度に実施することとした。なお、新たに設置する取水柵の製作は専門業者に発注し製作費は2022年度予算に計上を決定。

○「山小屋の利用促進を考える会」(2022年2月26日 発足)

- ・会の設置期間を3年間とし構成メンバーを本会設置の趣旨に賛同したS45荒井、S47小林、S61森、H31北原各氏とOB・OG会役員及び現役(役員会担当)で構成

【2022年度】

- 2022年度活動計画、予算計画について(4月 役員会)
 - ・主な活動として5月山小屋の利用促進を考える会、6月佐久市財産区訪問、山小屋偵察、9月山小屋ワーク、12月OB・OG総会開催を計画した。予算計画は主に山小屋関連を計上した。
- 「山小屋の利用促進を考える会」(2022年5月21日 第2回会合)
 - ・「じんじろげ小屋の未来を考える会」に名称変更
 - ・若手OB・OG(主に平成卒部生)による分科会設置
- 佐久市協和財産区訪問(6月)
 - ・山小屋周辺の事業計画や借地契約更新時の考え方を確認した
 - ・将来土地返還時の土地の更地化など
- 会員向け活動・会計報告等の資料発送(7月 メール主体、一部郵送)
- 山小屋ワーク OB 11名参加(9月)
 - 水道取水口の改良工事、山小屋手前の橋の架け替え、草刈、小屋内外の整理
- 総会準備 会場下見、資料および出席者の確認(10月)

<じんじろげ小屋の未来を考える会>

- 課題の整理(7月)
- テーマ別分科会の開催(9月)
- 総会発表資料の確認(10月、11月)

会計報告

令和3年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB・OG会 会計報告

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

(一般会計)

単位:円

収入			支出			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	244,001	244,001	山小屋借地費	70,000	69,400	借地年間費用
OB会費(3年度)108名	420,000	408,000	山小屋維持・修繕費	150,000	20,269	保険、消耗品補充費用
山小屋宿泊費収入		22,500	山小屋活動費	40,000	-	山小屋偵察、関係機関訪問(実施できず)
受取利子		3	通信費	14,000	8,652	郵送費用(年度報告、会費案内)
			事務用品・印刷費	20,000	6,082	報告書作成費用
			渉外費	20,000	20,000	卒部生へのお祝い金
			交通費	30,000	-	オンライン会議実施のためなし
			特別会計へ繰出し①	300,000	250,000	山小屋修繕費積立金として
			雑費	20,001	660	振込手数料
総収入	664,001	674,504	総支出	664,001	375,063	

残高	299,441
----	----------------

(特別会計:山小屋修繕積立金)

単位:円

収入			支出			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	1,094,009	1,094,009				
①一般会計から繰り入れ	300,000	250,000				
総収入	1,394,009	1,344,009	総支出	-	-	

残高	1,344,009
----	------------------

上記の通り、報告いたします。

令和4年3月31日


会計


飯島 五郎

令和3年度 監査報告

幹事は、会計担当責任者から提示された令和3年度の会計帳簿、領収書類、預金通帳類および現金について、相互に照会しました。

結果、帳票類は正確に記載され、領収書類は整理保管され、会計処理は適正に行われていることを確認しました。

令和4年 4月28日
会計監査 上野 潔 

令和4年 5月2日
会計監査 城所 孝司 

2022年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB・OG会 会計報告(2022年11月時点)

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

(一般会計)

単位:円

収入			支出			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	299,441	299,441	山小屋借地費	70,000	69,400	借地年間費用
OBOG会費(2022年度)98名	420,000	362,000	山小屋維持・修繕費	170,000	155,967	保険、水源改良工事、消耗品補充費用
山小屋宿泊費収入		35,000	山小屋活動費	25,000	25,678	山小屋偵察、関係機関訪問
受取利子		4	通信費	40,000	37,075	郵送費用、Zoom契約費用
			事務用品・印刷費	60,000	9,118	報告書作成費用
			渉外費	20,000	20,000	卒部生へのお祝い金
			交通費	20,000	-	オンライン会議実施のためなし
			特別会計へ繰出し①	300,000	-	山小屋修繕費積立金として
			雑費	14,441	1,210	振込手数料、硬貨払出手数料
総収入	719,441	696,445	総支出	719,441	318,448	

残高	377,997
----	---------

(特別会計:山小屋修繕積立金)

単位:円

収入			支出			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	1,344,009	1,344,009				
①一般会計から繰り入れ	300,000	-				
総収入	1,644,009	1,344,009	総支出	-	-	

残高	1,344,009
----	-----------

上記の通り、報告いたします。

2022年11月26日

会計

飯島 五郎

「じんじろげ小屋の未来を考える会」 中間報告

1. 発足の背景

じんじろげ小屋も築56年を数え、さまざまな課題が浮かび上がっています。

- ✓ 老朽化に伴うメンテナンス費用の増加
- ✓ 環境保護
- ✓ 最終的に必要となる解体費用の確保
- ✓ OB/OGの高齢化
- ✓ 学生の活動様式の変化

佐久市への確認結果

- ・ 借地契約の継続を望むのであれば受け入れる
- ・ 将来的に借地契約を終了する場合は更地化を求める

若手分科会からの答申

- ・ じんじろげ小屋での「活動経験」は学生にとっても有益である

1-1.背景参考情報 1 (収支見通し)

年間収支概算

項目		IN	OUT	収支	備考
一般	OB会費	¥400,000			漸減傾向
	山小屋以外の諸経費 部誌(かたつむり)費用		¥50,000 —		電子化対応
山小屋 関連	山小屋利用料	¥20,000			
	山小屋活動費(偵察、関係機関訪問等)		¥40,000		
	山小屋借地費 維持費用		¥70,000 ¥100,000		現状
計		¥420,000	¥260,000	¥160,000	

今後の見通し

計算前提

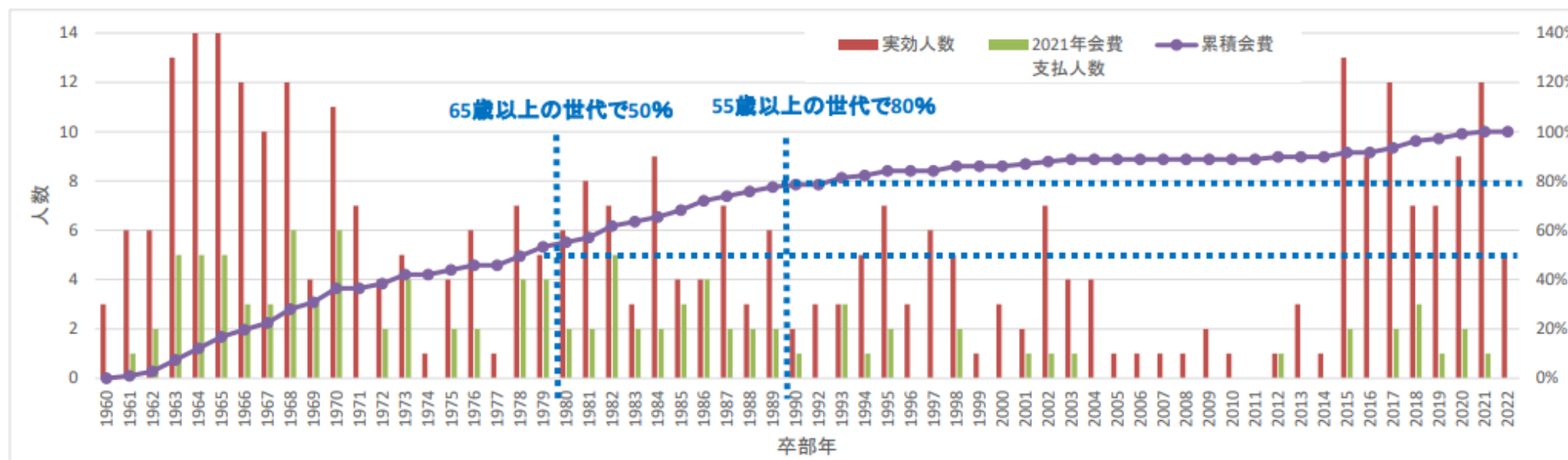
積立金	¥1,344,009	2022年3月時点
年間収支	¥160,000	現状維持
遭難対策	—	学生が保険加入
大規模修繕	¥500,000	5年に1度
利用活性化	?	
解体費用	¥5,000,000	2019年見積もり



いつか必要となる解体費用に備える必要がある

1-2.背景参考情報2 OB/OG 会費収集状況

OB 総数	420
故人	40
不明ほか	37
実効人数	343
2021 年会費支払い人数	107



- ・ 約 50%は 65 歳以上の世代で賄われている。20 年後はどうなる？
- ・ 約 80%は 55 歳以上の世代で賄われている。30 年後はどうなる？

若い世代の賛同・協力を得られなければ、じんじろげ小屋の維持はいつか破綻する

2. 目的と目指すアウトプット

目的

じんじろげ小屋を安心して使える環境を将来の OB/OG と学生に提供する
(じんじろげ小屋を将来の OB/OG の負の遺産にしてはいけない！)

目指すアウトプット

- 恒久的な維持方法の提案と必要費用見積もり
- 最終的な処理方法の提案と必要費用見積もり
- 資金調達方法の提案

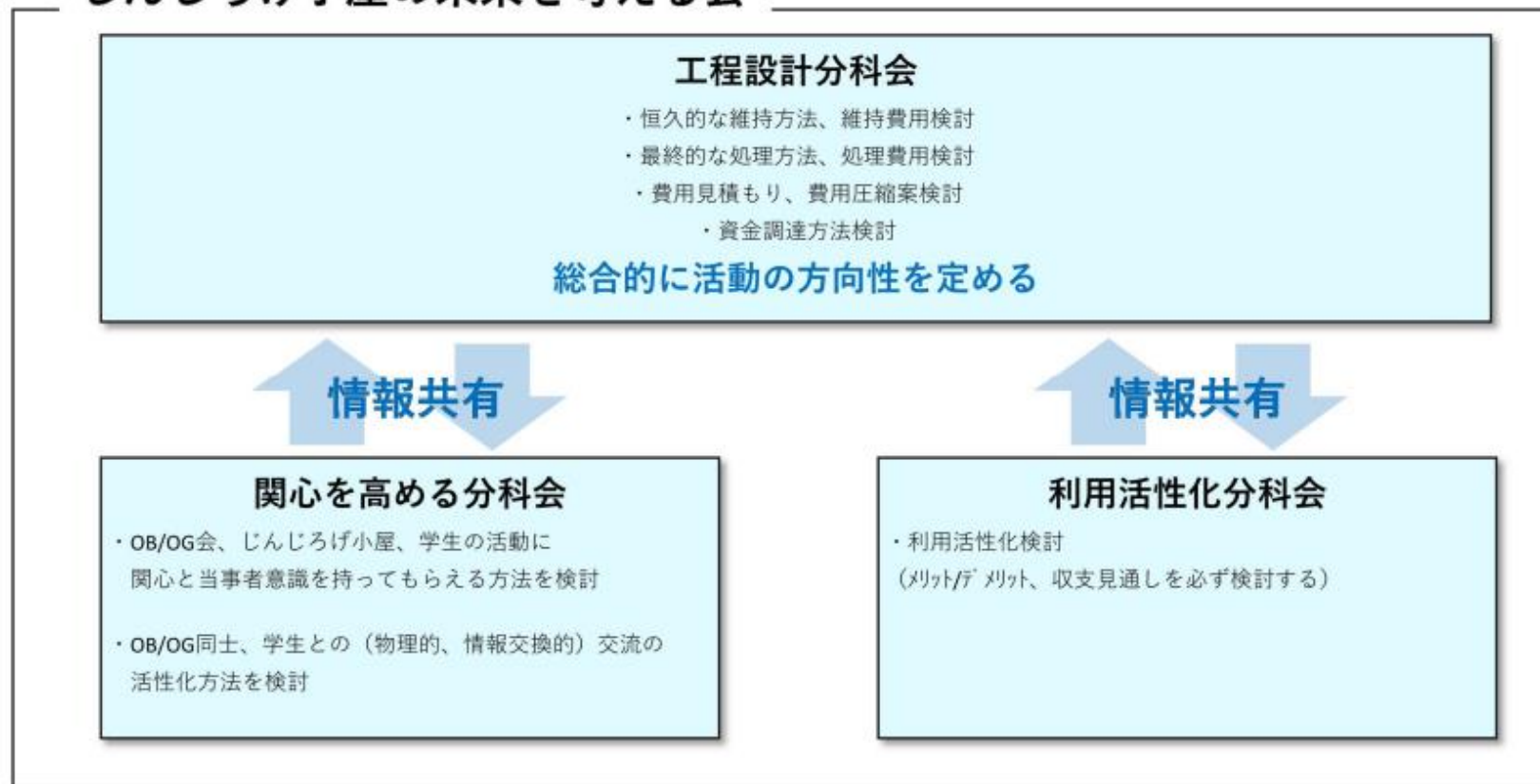
これらについて、できるだけ多くの OB/OG の理解・賛同をいただく

3. これまでの検討経緯

- | | | |
|-----|----------------|---|
| 第1回 | 2022年2月（参加11名） | 「山小屋の利用促進を考える会」として発足 |
| 第2回 | 2022年5月（参加12名） | 検討課題を整理
会の名称を議論し、目的を鑑み「じんじろげ小屋の未来を考える会」に変更 |
| 分科会 | 2022年6月（参加9名） | 若手で議論。小屋での活動経験は学生に有益であるとの答申
一方、積極的な活動をしているのは年配者中心であり、今後の課題である旨提言 |
| 第3回 | 2022年7月（参加12名） | 課題整理 |
| 第4回 | 2022年9月（参加11名） | 具体化のための分科会設置
・ 工程設計分科会（資金調達検討を含む）
・ 関心を高める分科会
・ 利用活性化分科会（メリット、デメリットをしっかりと検討） |
| 第5回 | 2022年11月（参加8名） | OB/OG 総会へ向けての進め方確認 |

4. 会の構成と検討メンバー

じんじろげ小屋の未来を考える会



工程設計分科会

とりまとめ役
メンバー

川辺(1973),森(1986),佐藤(1998)
上野(1963),城所(1970),岩田(1998),井波(2009),佐々木(2019),本木(2021),奥泉(4年),東山(2年)

関心を高める分科会

とりまとめ役
メンバー

飯島(1989),松岡(2017)
荒井(2003),平野(2015),岩竹(2017),荒牧(2017),中嶋(2年)

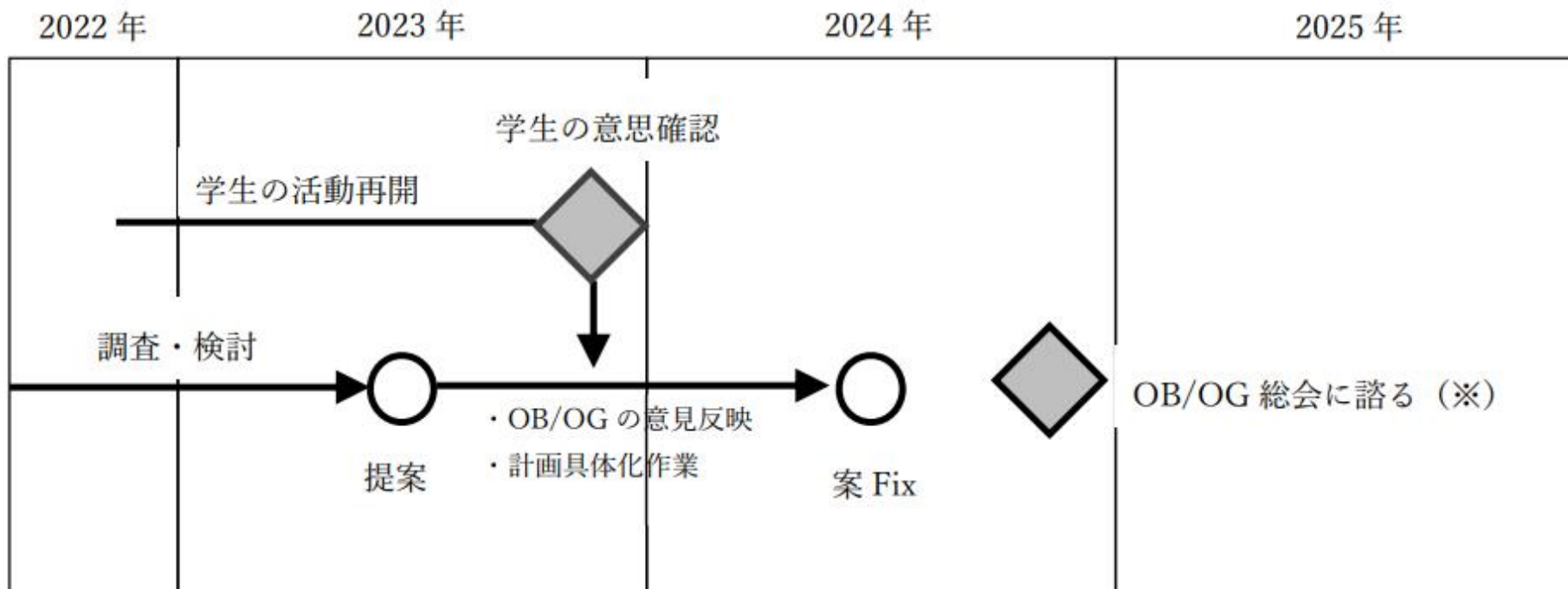
利用活性化分科会

とりまとめ役
メンバー

井戸上(1998),北原(2019)
荒井(1970),小林(1972),笠倉(1975),岡村(1994)

5. 今後の検討計画

(現借地契約は 2005 年～2035 年)



※) OB/OG 総会は 3 年に 1 回 (次回は 2025 年)。必要があれば臨時総会を開催いただく

2024 年に計画を承認いただき、実行に移すことを目指す

ぜひとも、ご理解とご賛同をいただき、

ご協力いただきますようお願いいたします。



山小屋予約

-  未来を考える会
じんじろげ小屋の未来を考える会 進捗状況
2022年6月29日
-  じんじろげ小屋 水道使用手順です
水道使用手順と水源工事詳細
2022年10月25日
-  資料
2022年度OB・OG総会
2022年10月8日
-  じんじろげ小屋
OB・OG山小屋ワーク合宿 2022

■ 関心を高める分科会

- OB・OG会、じんじろげ小屋、現役の活動に関心と当事者意識を持ってもらえる方法を検討
- OB・OG同士、現役との（物理的、情報交換的）交流の活性化方法を検討

- OB・OG会のホームページを2022年7月にリリース
- 現役/OB・OGの情報共有サイトを目指しています

□ このホームページをベースに、どうすればOBOG現役への情報発信、情報入手、交流をもっと活性化できるのかを考えました。



ホームページのQRコード

今後の施策について

- ・ 情報発信/収集/交流の場を提供 の3本柱で検討中
- ・ 将来のOBOG会の中心メンバーである20-30代をターゲットとして施策実施予定

情報発信

OB・OG会
ホームページ

- ・ 現役/OB・OGの情報共有サイト
- ・ 未来を考える会の進捗状況も！



- ・ LINE公式アカウントの開設
- ・ メール/郵送をLINEに徐々に移行する
- ・ OB・OG会からの連絡事項などを発信



- ・ 20-30代がターゲット
- ・ HP更新を通知



- ・ 未来を考える会の内容説明
- ・ 総会の内容を録画して公開
- ・ 山小屋の利用方法の説明
水道/発電機/etc.

情報収集



- ・ 意見募集/アンケート
- ・ 賛成/反対の意見確認、集計
- ・ 匿名で現役/若手の素の意見を収集

交流の場を提供



- ・ 個人の山行記録の公開/共有
- ・ グループラインを作る
- ・ 年代問わず有志で山へ行こう！

【ご依頼】 LINE公式アカウントのトライアル運用

- ・ 施策案のLINE公式アカウントについてトライアル運用してみたく、ぜひ「友だち追加」してご協力をお願いします。

今後の施策について

- ・ 情報発信/収集/交流の場を提供の3本柱で検討中
- ・ 将来のOBOG会の中心メンバーである20-30代をターゲットとして施策実施予定

情報発信

OB・OG会
ホームページ

- ・ 現役/OB・OGの情報共有サイト
- ・ 未来を考える会の進捗状況も！



- ・ 20-30代がターゲット
- ・ HP更新を通知



- ・ **LINE公式アカウントの開設**
- ・ メール/郵送をLINEに徐々に移行する
- ・ OB・OG会からの連絡事項などを発信



- ・ 未来を考える会の内容説明
- ・ 総会の内容を録画して公開
- ・ 山小屋の利用方法の説明
- 水道/発電機/etc.

情報収集



- ・ 意見募集/アンケート
- ・ 賛成/反対の意見確認、集計
- ・ 匿名で現役/若手の素の意見を収集

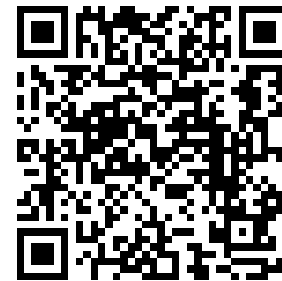
交流の場を提供



- ・ 個人の山行記録の公開/共有
- ・ グループラインを作る
- ・ 年代問わず有志で山へ行こう！

<友だち追加の流れ>

- ① 下記QRコードをスマホで読み取る



友だち追加用QRコード

- ② 「東京都市大学WV部OB・OG会」と表示されるので、追加ボタンを押下する

- ③ 自動応答でお名前と卒部年の確認ラインを送信されるためご返信をお願いします

役員改定、新役員選出

役員役割分担表(案)

2022/11/26

役職	担当	ミッション	分類	業務
顧問	白旗 弘実	運営相談を受ける		* 東京都市大学ワンダーフォーゲル部顧問として、大学側と連絡・調整をする
会長	田口 哲雄('69卒)	会の代表・責任者 緊急時の意思決定		東京都市大学との連絡等(事務局長、学生支援センター) 外部組織との契約(佐久市、信州リゾートサービス 等)
副会長	川辺 和夫('73卒)	組織全体の管理 会長不在時の代理	年間計画 相互調整	* 年間計画を立てる 総会・山小屋OB・OG会・各種会議の調整と連絡
副会長	笠倉 和昌('75卒)	山小屋関連業務担当	山小屋貸出	問題点の指摘と小屋の使用状況の管理 * 現役 小屋の使用状況の管理
			山小屋維持	山小屋維持のための積立金、部材の見積もり、手配 * 現役担当 山小屋偵察報告書の作成、山小屋の整備
			OB. OB会・親睦	参加者の集計、確認、当日の買い出し、送迎手配、準備 当日の司会進行
総務 4名	平野 大輝('15卒) 松岡 拓志('17卒)	会員への事務連絡	山小屋維持	* 現役 要修繕箇所の確認の報告
			OB. OB会・親睦	総会の企画・開催案内文書作成・会則の見直し OB・OG会および山小屋OB・OG会開催企画・案内文書作成
			名簿管理	会員名簿の更新と情報管理、連絡先確認
			ホームページ管理	更新、維持管理
	森 秀雄('86卒) 佐藤 章('98卒)	山小屋関連特名担当	山小屋維持	* 「じんじろげ小屋の未来を考える会」取りまとめ
会計 1名	飯島 五郎('89卒)	予算管理、実績管理	予算管理	年間計画に基づき予算計画を立てる
			会費徴収	会費振込依頼文書作成、振込票、依頼書送信 銀行口座(会費の納入状況)チェック
			年度報告	実績報告をする
会計監査 2名	城所 孝司('70卒) 佐藤 国仁('82卒)	年間計画の実施監査	実績監理	業務内容のチェック
			証票チェック	会計諸表のチェック
相談員 2名 ※再掲	川辺 和夫('73卒) 平野 大輝('15卒)	現役の山行計画	計画チェック	* 現役の計画に対するコメントと指導

*現役と連携する項目

今後の活動方針

前役員体制が発足直後に新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、感染防止対策、緊急事態宣言等かつて経験したことのない日常を迎え、行動変容を強いられマスク生活が当たり前になりました。

役員会もオンライン会議が定着し、経費削減、役員の負担軽減を図ることができました。そこで、今回初めて首都圏以外の遠隔地に居住する方にも役員に加わってもらいました。

近い将来訪れる世代交代に向けて、できるだけ多くのOB.OGに、本会の運営、山小屋の維持管理等に当事者意識を持ってもらえるよう、関心を高めるためにホームページを開設いたしました。このホームページを活用してタイムリーな情報発信に努め会員相互の情報共有を図ります。

本年発足した「じんじろげ小屋の未来を考える会」には、平成卒業世代から検討メンバーに多数参加していただき、将来を見据えて経年劣化による修繕費の増大、利用像、資金計画、関心喚起等、多角的な視点で検討し一定の方向性を見出します。

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、いかにして本会を運営したら良いか模索しながら進めてまいります。

アンケートのお願い



QRコードを読み込んで、回答後、送信ボタンを押してください。